

問題1. 昭和55年の日本人の食事のタンパク質 (P)、脂質 (F)、糖質 (C) バランスはおよそどれくらいか。

- 1) 13.0 : 25.5 : 61.5
- 2) 12.2 : 16.2 : 71.6
- 3) 13.0 : 29.9 : 57.1
- 4) 12.8 : 20.3 : 66.9
- 5) 10.8 : 22.6 : 66.6

問題2. 国立がん研究センターの出した「がん予防の12か条」に掲載されていないのはどれか。

- 1) お酒はほどほどに
- 2) 適度なスポーツを
- 3) カビの生えたものに注意
- 4) 食べすぎをさけ、脂肪は控えめに
- 5) 農薬使用野菜を避け、有機野菜を多く

問題3. サーチュン (Sirtuin) 遺伝子を活性化する赤ワインに含まれる物質はどれか。

- 1) 酪酸
- 2) 没食子酸
- 3) クロトン油
- 4) フェロジピン
- 5) レスベラトロール

問題4. 平成27年4月1日に施行された新しい食品表示法において、消費者庁は機能性表示食品をどこに位置づけたか。

- 1) 栄養機能食品
- 2) 保健機能食品
- 3) 栄養補助食品
- 4) 特別用途食品
- 5) 特定保健用食品

問題5. 食品の第3次機能に該当する事項はどれか。

- 1) チーズが筋肉形成の栄養になる。
- 2) 柿が色づいておいしそうに見える。
- 3) 発酵食品の乳酸菌が整腸作用を有する。
- 4) お餅のデンプンがエネルギー源となる。
- 5) いちごエッセンスがアイスクリームを美味しくする。

問題6. 「糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適しています。」と表記できる規格基準型特定保健用食品素材はどれか。

- 1) 大豆オリゴ糖
- 2) キシロオリゴ糖
- 3) グアーガム分解物
- 4) ポリデキストロース
- 5) 難消化性デキストリン

問題7. 平成17年7月に厚生労働省が輸入ダイエット茶による健康障害の調査の結果を報告しているが、おもな健康障害は肝障害と何であったか。

- 1) 腎障害
- 2) アトピー
- 3) 筋肉障害
- 4) 甲状腺障害
- 5) 急性の胃腸障害

問題8. 「無承認無許可医薬品の指導取締りについて」(46通知)において医薬品的キャッチフレーズとして指摘されないのはどれか。

- 1) 和漢伝法製法の延命○○○○
- 2) ビタミンAの補給ができる○○○○
- 3) 健胃整腸で知られる黄檗(オウバク)を原料とした○○○○
- 4) 神農本草経に肝機能を改善すると記載されている○○○○
- 5) 東西大学教授の談「昔から○○○○を食べると癌にかからぬ」

問題9. フィンランドの研究者が3万5千人の喫煙者を二つのグループに分け、片方にはβ-カロテンを投与し、もう一方にはβ-カロテンと言ってそのプラセボを投与した。その結果プラセボ群と比較してβ-カロテン投与群にどのようなことが起こったと報告されたか。

- 1) 肺がんに罹患した人が多かった。
- 2) 腎炎に罹患した人が多かった。
- 3) 脳梗塞に罹患した人が多かった。
- 4) 肝臓癌に罹患した人が少なかった。
- 5) 心筋梗塞に罹患した人が少なかった。

問題10. ダイエット健康食品に食欲抑制作用を目的に不法に加えられた医薬品の群はどれか。

- 1) レボドパ、メトホルミン、ペンタゾシン
- 2) シルデナフィル、アルカボース、テオフィリン
- 3) フェニトイン、フルオロウラシル、コルチゾン
- 4) マジンドール、フェンフルラミン、エフェドリン
- 5) アトルバスタチン、シクロスポリン、ワルファリン

問題11. 特定保健用食品の許可要件に該当しないのはどれか。

- 1) 関与成分に病気を改善する効果が確認されている。
- 2) 食品又は関与成分についてその安全性が確保されている。
- 3) 関与成分について定性及び定量試験方法が確立されている。
- 4) 食品又は関与成分についての適切な摂取量が医学的、栄養学的に設定できる。
- 5) 食品又は関与成分について、保健用途の根拠が医学的、栄養学的に明らかにされている。

問題12. 特定保健用食品の許可を得るために行われる臨床試験の無作為化比較試験において統計的な有意差は何%以下であることが要求されているか。

- 1) 3%
- 2) 4%
- 3) 5%
- 4) 8%
- 5) 10%

問題13. フードファディズムに最も該当するのはどれか。

- 1) トクホのヨーグルトはおなかの調子を整えます。
- 2) こののど飴にはビタミンCがたっぷり含まれています。
- 3) このカプセルには難消化性デキストリンが5g含まれています。
- 4) DHAは栄養機能食品として国が認知症への効果を認めています。
- 5) この機能性表示食品で、ぐっすり、気持ち良い眠りが得られます。

問題14. 1994年に施行された米国の健康食品を定義しているのはどれか。

- 1) QHC : Qualified Health Claim
- 2) NDI : New Dietary Ingredient
- 3) FDAC : Food, Drug and Cosmetic Act
- 4) NLEA : Nutrition Labeling and Education Act
- 5) DSHEA : Dietary Supplement, Health and Education Act

問題15. 左側の食材またはその素材を右側の名称で表記すると医薬品扱いになるので表示が認められないのはどれか。

- 1) アガリクス ————— ヒメマツタケ
- 2) ビタミンC ————— アスコルビン酸
- 3) ニンニク ————— オオヒル
- 4) 山芋 ————— サンヤク
- 5) レシチン ————— ホスファチジルコリン

問題16. 食薬区分とはどのような分類の区分方法か。

- 1) 医薬品と食品の2区分
- 2) 薬効のある食品とない食品の2区分
- 3) 毒性のある食品とない食品の2区分
- 4) 食品、医薬品、医薬部外品の3区分
- 5) 薬効のある食品、毒性のある食品、いわゆる食品の3区分

問題17. 次のうち、食品として認められるのはどれか。

- 1) ツルドクダミの塊根
- 2) セイヨウトチノキの種子
- 3) テンモンドウ（クサスギカズラ）の根
- 4) トウキ（オニノダケ/カラトウキ）の根
- 5) トウガシ（トウガニン/トウガン/ハクガ）の果実

問題18. 次のうち、食品として認められるのはどれか。

- 1) ゴボウの果実
- 2) キダチアロエ葉
- 3) クコ（クコシ/クコヨウ）の根皮
- 4) カワラタケ（サルノコシカケ）の菌糸体
- 5) カロニン（オオカラスウリ/キカラスウリ/シナカラスウリ）の根

問題19. スイッチOTC医薬品とは次のどれか。

- 1) 国外から輸入され直接転売されるOTC医薬品
- 2) 医療用医薬品から一般用医薬品に転用されたOTC医薬品
- 3) 医療用医薬品として日本で承認された実績のない成分を含む新規OTC医薬品
- 4) 医薬部外品としての使用経験が5年以上あることによって認められるOTC医薬品
- 5) 欧米でハーブとして登録されていて厚生労働省が臨床データに基づき認可するOTC医薬品

問題20. 健康食品のGMP施行に当たり、必要のない書類はどれか。

- 1) 製品標準書
- 2) 品質管理基準書
- 3) 製造管理基準書
- 4) 臨床試験計画基準書
- 5) 製造衛生管理基準書

問題21. 平成27年4月から栄養機能食品として認められた栄養素はどれか。

- 1) セレン
- 2) クロム
- 3) コリン
- 4) 食物繊維
- 5) n-3系脂肪酸

問題22. 栄養機能食品のカリウムに認められている機能表示はどれか。

- 1) 食塩の過剰摂取抑制に有用な栄養素です。
- 2) 正常な血圧を保つのに必要な栄養素です。
- 3) 神経細胞が正常に働くのに必要な栄養素です。
- 4) ナトリウムを排泄することを助ける栄養素です。
- 5) 体内のミネラルバランス正常化に必要な栄養素です。

問題23. 「妊娠3ヶ月以内又は妊娠を希望する女性は過剰摂取にならないよう注意してください。」の表記が必要な栄養機能食品素材はどれか。

- 1) 銅
- 2) 亜鉛
- 3) ビタミンA
- 4) ビタミンD
- 5) パントテン酸

問題24. 組み合わせで誤っているのはどれか。

- 1) プロバイオティクス ————— ビフィズス菌
- 2) プレバイオティクス ————— オリゴ糖
- 3) プレバイオティクス ————— 食物繊維
- 4) バイオジェニクス ————— エクオール
- 5) フィトケミカル ————— テトラサイクリン

問題25. ホモシステインの代謝に必須のビタミンはどれか。

- 1) 葉酸
- 2) ナイアシン
- 3) ビタミンC
- 4) ビタミンB₁
- 5) パントテン酸

問題26. 生の卵白の摂取により欠乏する可能性のある栄養素はどれか。

- 1) ビオチン
- 2) α -リボ酸
- 3) β -カロテン
- 4) イノシトール
- 5) コエンザイムQ₁₀

問題27. 人間の体内でニコチンアミドの供給源に成り得るのはどれか。

- 1) イソフラボン
- 2) ビタミンB₆
- 3) トリプトファン
- 4) ポリグルタミン酸
- 5) 赤ワインポリフェノール

問題28. 「神経管閉鎖症の子供の出産予防ができるかもしれない。」の疾病リスク低減の可能性の表示が認められている栄養素はどれか。

- 1) サイアミン
- 2) レチノイン酸
- 3) エルゴカルシフェロール
- 4) プテロイルモノグルタミン酸
- 5) フラビンアデニンジヌクレオチド

問題29. 特定保健用食品素材でその作用表示が異なるのはどれか。

- 1) ケルセチン
- 2) 豆鼓エキス
- 3) 小麦アルブミン
- 4) 難消化性デキストリン
- 5) グァバ葉ポリフェノール

問題30. コレステロール吸収抑制が特定保健用食品の素材として認められているのはどれか。

- 1) メバロン酸
- 2) グルタチオン
- 3) β -シトステロール
- 4) レチノイン酸ナトリウム
- 5) アスコルビン酸エチルエステル

問題31. 5α -リダクターゼ阻害により前立腺肥大に有効とされるのはどれか。

- 1) カモミール
- 2) プロポリス
- 3) ノコギリヤシ
- 4) β -アラニン
- 5) ロイヤルゼリー

問題32. 紅麹の成分に認められる作用はどれか。

- 1) 消化酵素作用促進
- 2) HMG - C o A還元酵素阻害
- 3) メイラード反応抑制
- 4) 中性脂肪吸収抑制
- 5) α -グルコシダーゼ阻害

問題33. 成分としてアントシアニンを多量に含むのはどれか。

- 1) 松葉エキス
- 2) エキナセア
- 3) ブルーベリー
- 4) マリアアザミ
- 5) セント・ジョーンズワート

問題34. 正しいのはどれか。

- 1) たんぱく質はエネルギー源となる。
- 2) 異化では新たな生体物質を産生する。
- 3) メチオニン^①はヒトの体内で生合成される。
- 4) 人体構成成分中のたんぱく質の割合は糖質より少ない。
- 5) 食事バランスガイドのコマのヒモは水・お茶を表している。

問題35. 膵液に含まれないのはどれか。

- 1) リパーゼ
- 2) ペプシン
- 3) トリプシン
- 4) アミラーゼ
- 5) ヌクレアーゼ

問題36. 1分子のグルコースが解糖系でピルビン酸に代謝される間のA T Pの出納を示すのはどれか。

	消費	産生
1)	0	1
2)	1	2
3)	2	4
4)	3	6
5)	4	8

問題37. T C A回路の構成成分のうち炭素を5つ持つのはどれか。

- 1) クエン酸
- 2) リンゴ酸
- 3) イソクエン酸
- 4) オキサロ酢酸
- 5) 2-オキソグルタル酸

問題38. 呼吸鎖（電子伝達系）について正しいのはどれか。

- 1) 炭酸ガスが生じる。
- 2) A T Pを消費する。
- 3) N A D Hが生じる。
- 4) ゴルジ体に存在する。
- 5) 分子状酸素を消費する。

問題39. 血糖について正しいのはどれか。

- 1) 脂肪酸は血糖補充の材料となる。
- 2) 血液中のスクロースのことである。
- 3) アドレナリンにより低下する。
- 4) 赤血球では唯一のエネルギー源である。
- 5) 筋肉グリコーゲンが補充の中心を担う。

問題40. ドコサペンタエン酸（DHA）に代謝されるのはどれか。

- 1) オレイン酸
- 2) リノール酸
- 3) パルミチン酸
- 4) アラキドン酸
- 5) α -リノレン酸

問題41. リポたんぱく質について正しいのはどれか。

- 1) VLDLは肝臓で作られる。
- 2) カイロミクロンはVLDLより比重が大きい。
- 3) LDLはHDLよりたんぱく質の割合が高い。
- 4) HDLは肝臓から末梢組織中へコレステロールを運ぶ。
- 5) リポたんぱく質リパーゼはコレステロールを分解する。

問題42. ケトン体について正しいのはどれか。

- 1) 脳で作られる。
- 2) 糖尿病では産生が低下する。
- 3) 肝臓のエネルギー源となる。
- 4) アセチルCoAが基質となる。
- 5) アルカローシスの原因となる。

問題43. HMG-CoA還元酵素の働きを直接阻害するのはどれか。

- 1) リン脂質
- 2) 中性脂肪
- 3) 飽和脂肪酸
- 4) コレステロール
- 5) n-3系多価不飽和脂肪酸

問題44. 正しいのはどれか。

- 1) 分枝鎖アミノ酸は主に肝臓で代謝される。
- 2) トリペプチドは小腸上皮細胞に吸収される。
- 3) アルギニンは成長ホルモンの分泌を抑制する。
- 4) アドレナリンはトリプトファンから生合成される。
- 5) エンドペプチダーゼはペプチドを末端から分解する。

問題45. アルギニンからアルギナーゼにより生成されるのはどれか。

- 1) シトルリン
- 2) オルニチン
- 3) アスパラギン酸
- 4) カルバミルリン酸
- 5) アルギノコハク酸

問題46. 血液中のアンギオテンシノーゲンをアンギオテンシン I に変換するのはどれか。

- 1) レニン
- 2) トリプシン
- 3) アルドステロン
- 4) アンギオテンシン II
- 5) アンギオテンシン変換酵素

問題47. 1キロカロリーは何キロジュールか。

- 1) 1.18
- 2) 2.18
- 3) 3.18
- 4) 4.18
- 5) 5.18

問題48. mRNAを鋳型にしてたんぱく質を合成する過程を何と呼ぶか。

- 1) 転座
- 2) 翻訳
- 3) 加工
- 4) 転写
- 5) 複製

問題49. アレルギー物質に関する表示で正しいのはどれか。

- 1) 「そば」は症例数が多いことが表示の義務づけの理由である。
- 2) 「そば」「かに」は特定原材料として表示が義務となっている。
- 3) 新しい食品表示基準では、表示は一括表記が原則となっている。
- 4) 「えび」は症状が重篤であることが表示の義務づけの理由である。
- 5) 新しい食品表示基準ではマヨネーズであっても「卵」を含む旨の表示が必要である。

問題50. 食品の安全に関連する記述で正しいのはどれか。

- 1) 無添加食品は安全である。
- 2) 天然に存在するものは安全と考えてよい。
- 3) 危険という情報はメディアの記事になりやすい。
- 4) 残留農薬基準は1回摂取すると健康被害が起こる量として定められている。
- 5) 物質の危険性の判断には有るか無いか重要で、「量」の概念は必要ではない。

問題51. 疫学研究で要因と疾病の関連の強さを表す指標はどれか。

- 1) 非曝露群の罹患率 - 曝露群の罹患率
- 2) 非曝露群の罹患率 ÷ 曝露群の罹患率
- 3) 曝露群の罹患率 - 非曝露群の罹患率
- 4) 曝露群の罹患率 ÷ 非曝露群の罹患率
- 5) 曝露群の罹患率 × 非曝露群の罹患率

問題52. アスベスト曝露と悪性中皮腫との関連を調べたいときの最も適切な方法はどれか。

- 1) 介入研究
- 2) 横断研究
- 3) 症例対照研究
- 4) 生態学的研究
- 5) 前向きコホート研究

問題53. 次の疫学研究のうち因果関係を証明する力が最も強いのはどれか。

- 1) 横断研究
- 2) コホート研究
- 3) 症例対照研究
- 4) 無作為化比較試験
- 5) 非無作為比較対照試験

問題54. 食品添加物について正しいのはどれか。

- 1) 疾病の予防目的で使用される。
- 2) 既存添加物は農林水産大臣が指定したものである。
- 3) LD50値に1/100を乗じてADIが求められる。
- 4) 食品添加物の使用基準はADIの80%と定められている。
- 5) 栄養強化のために使用されたビタミンCは表示する必要はない。

問題55. 食品添加物の表示について物質名とともに併記しなければならない用途名はどれか。

- 1) 乳化剤
- 2) 光沢剤
- 3) 酸味料
- 4) 酸化防止剤
- 5) 豆腐用凝固剤

問題56. ドライアイスセンセーションと最も関連が深い食材はどれか。

- 1) フグ
- 2) 青梅
- 3) 毒カマス
- 4) トリカブト
- 5) バレイショ

問題57. 残留農薬基準を定めている法律を管轄している省庁はどこか。

- 1) 環境省
- 2) 消費者庁
- 3) 農林水産省
- 4) 厚生労働省
- 5) 文部科学省

問題58. 遺伝子組換えの安全性が確認されていない農作物はどれか。

- 1) 大豆
- 2) なたね
- 3) とまと
- 4) てんさい
- 5) ジャガイモ

問題59. 静的栄養評価として正しいのはどれか。

- 1) 呼吸商
- 2) 窒素出納
- 3) アルブミン
- 4) トランスフェリン
- 5) 尿中3-メチルヒスチジン

問題60. 栄養サポートチームについて正しいのはどれか。

- 1) 患者の治療に携わることはできない。
- 2) 医師以外の医療スタッフチームのことである。
- 3) 食事を摂ることができる患者は対象にならない。
- 4) 内科的治療を受けている患者は対象にならない。
- 5) 病院全体に栄養管理の啓発活動を行うことである。

問題61. ビタミン欠乏症として正しい組み合わせはどれか。

- 1) ビタミンA ————— 口内炎
- 2) ビタミンB₁ ————— 壊血病
- 3) ビタミンB₂ ————— 脚気
- 4) ビタミンC ————— 夜盲症
- 5) ビタミンD ————— くる病

問題62. 肥満症の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 脂質は1日に5g以下に制限する。
- 2) 糖質を制限するために穀類を摂らない。
- 3) ビタミン補給にはビタミン剤が必須である。
- 4) きのこと類や海藻類などの食物繊維を多くする。
- 5) 超低エネルギー食（VLCD）は1000 kcal/日とする。

問題63. クロウン病の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 魚介類を制限する。
- 2) 食物繊維を制限する。
- 3) エネルギーを制限する。
- 4) たんぱく質を制限する。
- 5) 多価不飽和脂肪酸を付加する。

問題64. 慢性肝炎の栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 黄疸がみられる場合は脂質を付加する。
- 2) 高エネルギー・高たんぱく質食が原則である。
- 3) 鉄を摂取することで肝炎の進展を抑えることができる。
- 4) インターフェロン療法時は栄養状態が悪くなることを考慮する。
- 5) たんぱく質不耐症がみられる場合は芳香族アミノ酸が有効である。

問題65. 胆石症について正しいのはどれか。

- 1) 男性に多くみられる。
- 2) コレステロール胆石が最も多い。
- 3) 3主徴は疝痛、発熱、嘔吐である。
- 4) 食物繊維を多く含む食材は控える。
- 5) 長鎖脂肪酸であれば制限する必要はない。

問題66. 慢性腎臓病（CKD）患者の糸球体ろ過率（GFR）と栄養療法について正しいのはどれか。

- 1) 80%未満でカリウム制限を開始する。
- 2) 60%未満で塩分を3g以下に制限する。
- 3) 40%未満で透析療法の準備を開始する。
- 4) 30%未満で厳しいたんぱく質制限を行う。
- 5) 15%未満で厳しいエネルギー制限を行う。

問題67. 食物アレルギーについて正しいのはどれか。

- 1) 食品の加熱処理ではアレルゲンは減少しない。
- 2) 大豆は食品衛生法で表示義務のある食品である。
- 3) 食物アレルギーは年齢が増すにつれて激しくなる。
- 4) I型アレルギーはIgA抗体が抗原と反応することで起こる。
- 5) ピーナッツやそばアレルギーはアナフィラキシーショックを起こす。

問題68. 貧血について正しいのはどれか。

- 1) 鉄欠乏性貧血は男性に多い。
- 2) 葉酸の欠乏で再生不良性貧血になる。
- 3) ビタミンC欠乏で巨赤芽球性貧血になる。
- 4) 鉄欠乏性貧血の患者には高たんぱく質摂取を勧める。
- 5) 鉄欠乏性貧血の患者には自覚症状が治ったら鉄剤投与を中止する。

問題69. 一般用医薬品に関して誤っているのはどれか。

- 1) 第一類～第三類に分類される。
- 2) 購入に際して処方せんは必要でない。
- 3) スイッチOTCは第一類に分類される。
- 4) 医薬品医療機器法（旧薬事法）で規制されている。
- 5) 登録販売者は全ての一般用医薬品を販売することができる。

問題70. 納豆に関して誤っているのはどれか。

- 1) ワルファリンの効果を減少させる。
- 2) ビタミンKを多く含んでいる。
- 3) ナットウキナーゼを含んでいる。
- 4) タンパク質、脂質を多く含んでいる。
- 5) アスピリンの抗血小板凝集作用を抑制する。

問題71. 牛乳と同時に服用すると薬効が低下するものはどれか。

- 1) カプトプリル
- 2) タクロリムス
- 3) オメプラゾール
- 4) テトラサイクリン
- 5) アセトアミノフェン

問題72. 交感神経興奮症状が現れる可能性のある組み合わせはどれか。

- 1) つけもの _____ サリチル酸メチル
- 2) チーズ _____ イソニアジド
- 3) ほうれん草 _____ セルフジニル
- 4) コーラ _____ ペニシリン
- 5) ヨーグルト _____ オフロキサシン

問題73. CYPについて正しいのはどれか。

- 1) 鉄を含んでいる。
- 2) 脾臓に多く存在する。
- 3) 分子量は約10万である。
- 4) 反応で過酸化水素を生成する。
- 5) 薬物を不溶性物質に変化させる。

問題74. グレープフルーツジュースの医薬品に与える影響について、誤っているのはどれか。

- 1) CYP3A4を阻害する。
- 2) 初回通過効果に影響する。
- 3) 作用は2~3時間で消失する。
- 4) ニフェジピンのAUCを上昇させる。
- 5) シクロスポリンの免疫抑制効果を増強する可能性がある。

問題75. セイヨウオトギリソウについて誤っているのはどれか。

- 1) CYP2E1を誘導する。
- 2) ハーブティーとして用いられる。
- 3) 抽出物は抗うつ作用を有している。
- 4) 英語名はセント・ジョーンズワートと称する。
- 5) 日本では薬効を標榜しない限りは「食品」扱いである。

問題76. ワルファリンの効果が青汁の飲用で低下する理由はどれか。

- 1) 吸収の抑制
- 2) 代謝の促進
- 3) ビタミンKの供給
- 4) 緑色の色素との結合
- 5) ビタミンCの吸収抑制

問題77. 喫煙に関して誤っているのはどれか。

- 1) 発がん性を増強させる。
- 2) CYP1A2を誘導する。
- 3) テオフィリンの効果を増大させる。
- 4) ヘモグロビンの酸素運搬能力を低下させる。
- 5) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の発生に影響している。

問題78. 相互作用を示さないのはどれか。

- 1) カフェイン ————— シメチジン
- 2) ニンニク ————— サキナビル
- 3) グルコバイ ————— グアバ葉ポリフェノール
- 4) 鉄製剤 ————— ビタミンD
- 5) ビタミンB₆ ————— レボドパ

問題79. 「過去に一度も食品として食したこともない」ものが含まれている場合は必要に応じて販売禁止となるが、このことを何と呼ぶか。

- 1) 新保健食品の販売禁止
- 2) 新開発食品の販売禁止
- 3) 機能性食品の販売禁止
- 4) 新加工食品の販売禁止
- 5) 虚偽食品による販売禁止

問題80. 「内容について実際のものより著しく優良であると消費者に誤認される」おそれのある表示はどれか。

- 1) 直接誤認
- 2) 優秀誤認
- 3) 有利誤認
- 4) 優良誤認
- 5) 不当表示誤認

問題81. J A S法で規定していないのはどれか。

- 1) 生鮮食品の表示
- 2) 栄養成分の表示
- 3) レモンの原産国表示
- 4) 加工食品の品質表示
- 5) 製造業者が行う格付け

問題82. 景品表示法の中で懸賞による景品類の提供に関する制限があるが、「景品の総額」とは懸賞に関わる取引の予定総額の何%か。

- 1) 2%
- 2) 5%
- 3) 10%
- 4) 20%
- 5) 40%

問題83. 特別用途食品でないものはどれか。

- 1) 病者用食品
- 2) 栄養機能食品
- 3) 乳児用調整粉乳
- 4) えん下困難者用食品
- 5) 妊産婦、授乳婦用粉乳

問題84. 食品安全基本法で定められている「関係者の責務」でないのはどれか。

- 1) 国の責務
- 2) 消費者の役割
- 3) 地方公共団体の責務
- 4) 食品関連事業者の責務
- 5) アドバイザリースタッフの責務

問題85. 食品衛生法の規制を受けないものはどれか。

- 1) 食品添加物
- 2) 有機食品の表示
- 3) 遺伝子組み換え表示
- 4) 食品中の残留動物医薬品
- 5) 器具・容器包装、おもちゃ

問題86. 健常成人血清成分で明らかな性差があるのはどれか。

- 1) C K
- 2) A S T
- 3) アルブミン
- 4) ナトリウム
- 5) アミラーゼ

問題87. 動脈硬化の危険因子はどれか。

- 1) 白血病
- 2) 貧血
- 3) 加齢
- 4) 低脂肪食
- 5) アレルギー

問題88. 特定健診について誤っているのはどれか。

- 1) 尿糖、尿蛋白の検査が行われる。
- 2) ウエスト（腰回り）の測定が行われる。
- 3) 医療保険者に実施が義務付けられている。
- 4) 生活習慣病予防のための健診制度である。
- 5) 中性脂肪、A S T、A L Tの血液検査が行われる。

問題89. 生活習慣病の要因でないのはどれか。

- 1) 喫 煙
- 2) 飲 酒
- 3) 食生活
- 4) 身 長
- 5) 運動不足

問題90. 体液性免疫と最も関係する細胞はどれか。

- 1) 血小板
- 2) T細胞
- 3) B細胞
- 4) 好中球
- 5) N K細胞

問題91. 糖尿病について正しいのはどれか。

- 1) 合併症はほとんどない。
- 2) 慢性高血糖を主徴とする。
- 3) 尿糖陽性の場合には糖尿病と診断する。
- 4) インスリンの分泌過剰による疾患である。
- 5) 1型糖尿病は遺伝子異常が主な原因である。

問題92. H b A1c について正しいのはどれか。

- 1) グロブリン濃度に比例する。
- 2) 赤血球寿命に左右されない。
- 3) グリコアルブミンともよばれる。
- 4) 過去2~4ヶ月間の血糖値を良く反映する。
- 5) β 鎖のN末端バリリンにグルコースが結合している。

問題93. 血圧について誤っているのはどれか。

- 1) 日内変動や季節変動がみられる。
- 2) 脈圧は60歳を超えると徐々に低下する。
- 3) 心拍出量と末梢血管抵抗の積で示される。
- 4) 心筋収縮力、腎機能、血管作動物質の影響を受ける。
- 5) 診察時に緊張して血圧が上がることを白衣効果という。

問題94. 身長160 cm、体重60 kgの場合、BMI はいくつか。

- 1) 18.4
- 2) 21.0
- 3) 23.4
- 4) 26.2
- 5) 30.0

問題95. コレステロールは上昇、中性脂肪は基準範囲内となる脂質異常症の表現型分類はどれか。

- 1) I型
- 2) IIa型
- 3) IIb型
- 4) III型
- 5) IV型

問題96. 再生不良性貧血について誤っているのはどれか。

- 1) 汎血球増加症である。
- 2) 好中球の減少を認める。
- 3) 骨髄における造血能低下による。
- 4) 多くは原因不明の本態性である。
- 5) 薬剤、放射線障害、中毒に続発する二次性のものもある。

問題97. 溶血性貧血について正しいのはどれか。

- 1) LD低値
- 2) 網赤血球減少
- 3) 赤血球増加
- 4) 間接ビリルビン増加
- 5) ハプトグロビン増加

問題98. 骨粗しょう症について誤っているのはどれか。

- 1) 女性に多い。
- 2) 高齢者に多い。
- 3) 骨強度の低下による。
- 4) 骨折のリスクが高まっている。
- 5) 生活習慣による影響は受けない。

問題99. 疾患と腫瘍マーカーとの関連で誤っているのはどれか。

- 1) 扁平上皮癌 _____ S C C
- 2) 肝臓癌 _____ A F P
- 3) 前立腺癌 _____ P S A
- 4) 肺 癌 _____ P I V K A - II
- 5) 卵巣癌 _____ C A 1 2 5

問題100. 急性腎不全で増加する血清成分はどれか。

- 1) A S T
- 2) A L T
- 3) A L P
- 4) アミラーゼ
- 5) クレアチニン

